



校長通信

令和3年度22号 令和4年1月14日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《新型コロナウイルス感染症対策について》

新型コロナウイルス感染症の感染が爆発的に拡大しています。学校では、毎朝の体温チェック、マスク着用、手洗い励行、換気等、行っています。

間もなく3年生は、期末テスト、今月末は私立高校の入試も始まります。このような大切な時期に、学校がクラスターになることは何としても避けなければなりません。そこで、保護者の方々に、再度、下記のことを留意していただきたいと思います。

- 体調不良時に登校を控え、病院等を受診すること。
- 本人に症状がなくても、家族の方に発熱等の症状が見られる場合は、登校を控えること。(家族の方が、病院等受診され、コロナでないことが判明すれば登校可能)

先日、ぐるりんメールでもお知らせしましたが、部活動において、他校との練習試合や合同練習を実施しないこと、全国大会や近畿大会につながらない大会等は、原則延期・中止するよう指示がありました。日頃、熱心に練習に取り組んでいる生徒たちに、つらい思いをさせてしまっていますが、ご理解・ご協力のほどお願いします。

また、週末、各ご家庭でいろいろ予定されていることもあるかと思いますが、多くの人が集まるイベントへの参加や、蔓延防止等重点措置区域への不要不急の外出を控えるなど、各ご家庭でも感染防止を心がけていただければと思います。以上、よろしくお願いします。

《新年の抱負・ギブアップ・・・か?》

校長通信前号で、放送による始業式で、私自身の新年の抱負を例に出し、生徒たちに、具体的な目標を掲げ、その実行に向け、今年一年努力するよう促したことを述べました。

先日、東牟婁地方で開催された剣道昇段審査で、審査員をさせていただいたのですが、その後、稽古会があり、東牟婁地方の方々と稽古させていただきました。その稽古の最中、左足ふくらはぎに、後ろから竹刀で殴られたような衝撃を受けました。とっさに、後ろを振り返ったのですが、誰もいません。直後から、左足ふくらはぎ筋肉が痛くて、伸ばすことができなくなり、稽古を中断せざるを得なくなりました。なんとか歩くことはできるのですが、痛みは翌日になっても消えません。整形外科に行くと、肉離れと言われ、1カ月、運動を控えるよう指示がありました。

ということで、私の新年の抱負の一つ、「様々な方々に剣道の稽古をお願いする」は、今のところ棚上げということになりました。治るまで、ふくらはぎ筋肉を休養させます。年も年なので、自分の体力を過信してはいけないということを学びました。完治しても、ウォーミングアップを入念にするよう心がけます。皆様も、お気をつけください。